

登米市水道事業業務指標定性的項目の状況

区分	項目名	内容	対応状況	対応年度	状況	
1 ・ 安全	1. 原水・浄水	01.水安全計画策定状況	・水安全計画の策定の有無と見直し等の運用状況	○	H28 (2016)	・R2年度改訂 ・今年度 (R3:2021) 改定予定
		02.流域関係者による情報共有状況	・情報共有の有無と運用状況	○	—	・情報共有・水質情報の受信 ・北上川汚濁防止協議会 ・迫川利水委員会 ・国土交通省北上川下流河川事務所 ※四十四田ダム、田瀬ダム ※栗原市 (迫川) ※細倉金属工業・三菱マテリアル
		03.水質検査計画策定・公表状況	・水質検査計画や検査結果の公表と見直し等の運用状況	○	R2 (2020) R3 (2021)	・水質検査結果(R2)HPで公開 H20(2008)~R2(2020)年度まで ・水質検査計画(R3)HPで公開 ・おいしい水の条件HPで公開 ・水質検査は委託
	2.配水	04.設備修繕計画策定状況	・浄水施設や配水施設における施設・設備補修計画の策定状況	△	R3 (2021)	・システムにより策定稼働中
		05.塩素濃度管理状況	・浄水場や配水池における塩素管理状況	○	—	・浄水施設等管理運転業務委託において運転管理 ・末端水の塩素状況毎日検査委託 (×箇所)
		06.配水管における漏水管理状況	・漏水調査の実施等の管理状況	○	H27 (2015)	・配水施設等維持管理業務において漏水調査等実施
		07.赤水・濁水の管理状況	・配水管における管路洗浄の実施や赤水・濁水状況の把握	△	—	・工事に伴う管路洗浄実施 ・水質管理 (残留塩素確保) 冬季凍結防止対策としての末端水放流
	3.給水	08.鉛製給水管解消計画策定状況	・鉛製給水管の実態把握と解消 (更新) 計画の策定有無やその内容	△	—	・R3 (2021) 年度更新計画を策定予定 (残80件) 給水管
		09.貯水槽水道の管理指導状況	・貯水槽水道の管理指導の状況	○	—	・料金徴収、給水装置管理業務において貯水槽水道の調査、指導、助言の実施(2年に1回の頻度)
		10.水質に関する情報提供状況	・広報紙やウェブページ等での情報提供内容や頻度	○	—	・上下水道部HPで公開

登米市水道事業業務指標定性的項目の状況

2021（R3）年9月現在

区分	項目名	内容	対応状況	対応年度	状況	
2 ・ 安定	1. 老朽化対策	01. 管路台帳整備状況	・ 管路情報の管理状況や更新状況	○	R2 (2020)	・ システムにより管理
		02. 設備台帳整備状況	・ 設備情報の管理状況や更新状況	○	R2 (2020)	・ システムにより管理
		03. 管路更新計画策定状況	・ 管路更新計画の策定の有無と見直し等の運用状況	△	R3 (2021)	・ 作成予定
		04. 施設更新計画策定状況	・ 施設更新計画の策定の有無と見直し等の運用状況	△	—	・ アセットマネジメント(H26) ・ 統廃合計画：R3(2021)年度作成
	2. 災害対策	05. 管路耐震化計画策定状況	・ 管路耐震化計画の策定の有無と見直し等の運用状況	△	H23	・ H23(2011)年度計画策定、今後見直し予定
		06. 施設耐震化計画策定状況	・ 施設耐震化計画の策定の有無と見直し等の運用状況	△	—	・ R1(2019)年度耐震診断実施済み
		07. BCP策定状況	・ 被災した場合の事業継続計画の策定状況	×	—	・ 今後策定予定（来年度以降）
		08. 応急給水計画策定状況	・ 被災した場合の応急給水計画の策定状況	◎	—	・ 危機管理マニュアル策定済み ・ 災害訓練の実施（災害訓練、応急給水訓練）
	3. 施設規模 適正化	09. 未普及地域の管理状況	・ 未普及地域の現状把握	○	—	・ 解消済み
		10. 近隣事業者との連携状況	・ 同じ流域や近隣の事業者との連携の状況、広域化の検討状況	△	—	・ 県広域化検討会に参加 ・ 栗原市との連絡管（相互融通）
	4. 財源・職員 適正化	11. 官民連携の実施状況	・ 官民連携の実施レベルの把握	○	—	・ 包括委託
		12. アセットマネジメント策定状況	・ アセットマネジメントの策定の有無と見直し等の運用状況	○	H26 (2014)	・ 健全度と更新需要額の算定 ・ 財政計画

登米市水道事業業務指標定性的項目の状況

2021（R3）年9月現在

区分	項目名	内容	対応状況	対応年度	状況	
持続	1.ヒト	01.職員一人当たりの業務量把握（人材確保）	・水道事業の人材確保の状況	○	—	・毎年業務量調査（人事課）を行い、業務の状況を把握している
		02.職員一人当たりの業務量把握（効率性）	・効率的な業務の実施状況	○	—	
		03.職員の技術力確保の状況	・水道事業の技術力確保の状況	△	—	・資格取得制度はなし 研修受講状況は決算統計 ・2021(R3)年4月1日現在 水道技術管理者有資格者10名 布設工事監督者有資格者9名
		04.人材育成計画の策定状況	・水道事業の技術力確保の状況	×	—	・未策定
		05.官民連携の取組状況	・水道事業の技術力確保の状況	○	—	・包括民間委託 ①料金徴収・給水装置管理等業務(H22) ②浄水施設等管理運転業務(H23) ③配水施設等維持管理業務(H28) ④管路情報システム管理業務(H24)
		06.広域化の取組状況（ヒト）	・水道事業の技術力確保の状況	△	—	宮城県による広域化検討に参加
	2.モノ	07.アセットマネジメントの実施状況（モノ）	・水道事業の投資水準が適正かどうかを把握	○	H26 (2014)	取組みレベルは3C
		08.補助制度の活用状況	・各種補助制度を適切に活用できているかを把握	○	—	可能なものについて活用
		09.広域化の取組状況（モノ）	・広域的な観点からの水道施設の効率化の状況	△	—	市単独による広域化の検討は行っていない
		10.公共施設等総合管理計画（個別施設計画）の策定状況	・水道施設の管理に関する基本的な考え方 ※公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針（H26.4、総務省）	△	—	市で策定 個別施設計画については統廃合計画（作成中）
	3.カネ	11.アセットマネジメントの実施状況（カネ）	・水道事業の投資水準が適正かどうかを把握	○	H26 (2014)	取組みレベルは3C
		12.経営戦略の策定状況	・投資、財政計画の策定状況 ・効率化、経営健全化の取組状況 ※公営企業の経営に当たっての留意事項について（H26.8、総務省）	○	H29 (2017)	計画年次：H29-H38(2017-2026)

※項目の分類は、（公財）水道技術研究センターの「現状分析診断システム2021」の「各種対応状況（定性的項目）入力表」によるものです。